

第3次 富士山 おむすび 計画

概要版



富士市食育推進計画

富士市

計画の概要

1 計画の位置づけ

本計画は、食育基本法第18条第1項の規定に基づく市町村食育推進計画として位置づけられるもので、国・静岡県の計画を踏まえるとともに、第五次富士市総合計画に基づき、食育に関連する市の諸計画と整合性を持って策定したものです。

本計画は、本市の今後の食育推進の方向性を定め、食育に関する施策を総合的、計画的に推進するための基本となるものです。また、行政、関係団体、市民がそれぞれの役割に応じて連携を図り、協働して食育に取り組むための基本指針となります。

2 計画期間

本計画の期間は、平成31年(2019年)度から平成35年(2023年)度までの5年間とします。ただし、計画期間中に状況の変化などが生じた場合には、必要な見直しを行うこととします。

3 基本理念

全ての市民が生涯にわたって、食に関する理解や関心を高め、心身の健康と豊かな人間性を育むことを目指し、第1次計画時から、基本理念を「食で育む健全な心とからだ」と定め、基本理念に基づく3つの基本方針と11の基本施策のもと、各種取組を推進していくものとします。

4 基本方針

本計画の基本理念に基づき、食育を推進するに当たっての基本方針を以下のように定めます。

1 基本方針 食を通して 心身の健康を育む

食と健康に関する正しい知識の普及や健全な食生活の実践、健康寿命の延伸につながる食生活や歯と口の健康増進を推進し、心身の健康を育みます。



2 基本方針 食を通して 豊かな人間性を育む

家族や仲間と食卓を囲む楽しさと食事の大切さを認識し、望ましい食習慣や食事作法を身につける取組や食文化の伝承を推進し、豊かな人間性を育みます。



3 基本方針 食への 理解を深める

環境に配慮し、食に感謝する心を持ち、食品の安全性等に関する情報を正しく判断する力を習得するための取組や、地産地消の取組、農林水産体験等を通じ、食への理解を深めます。



食育とは？

- ◆ 生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきもの
- ◆ 様々な経験を通じ、「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること

—食育基本法（平成17年7月施行）より—

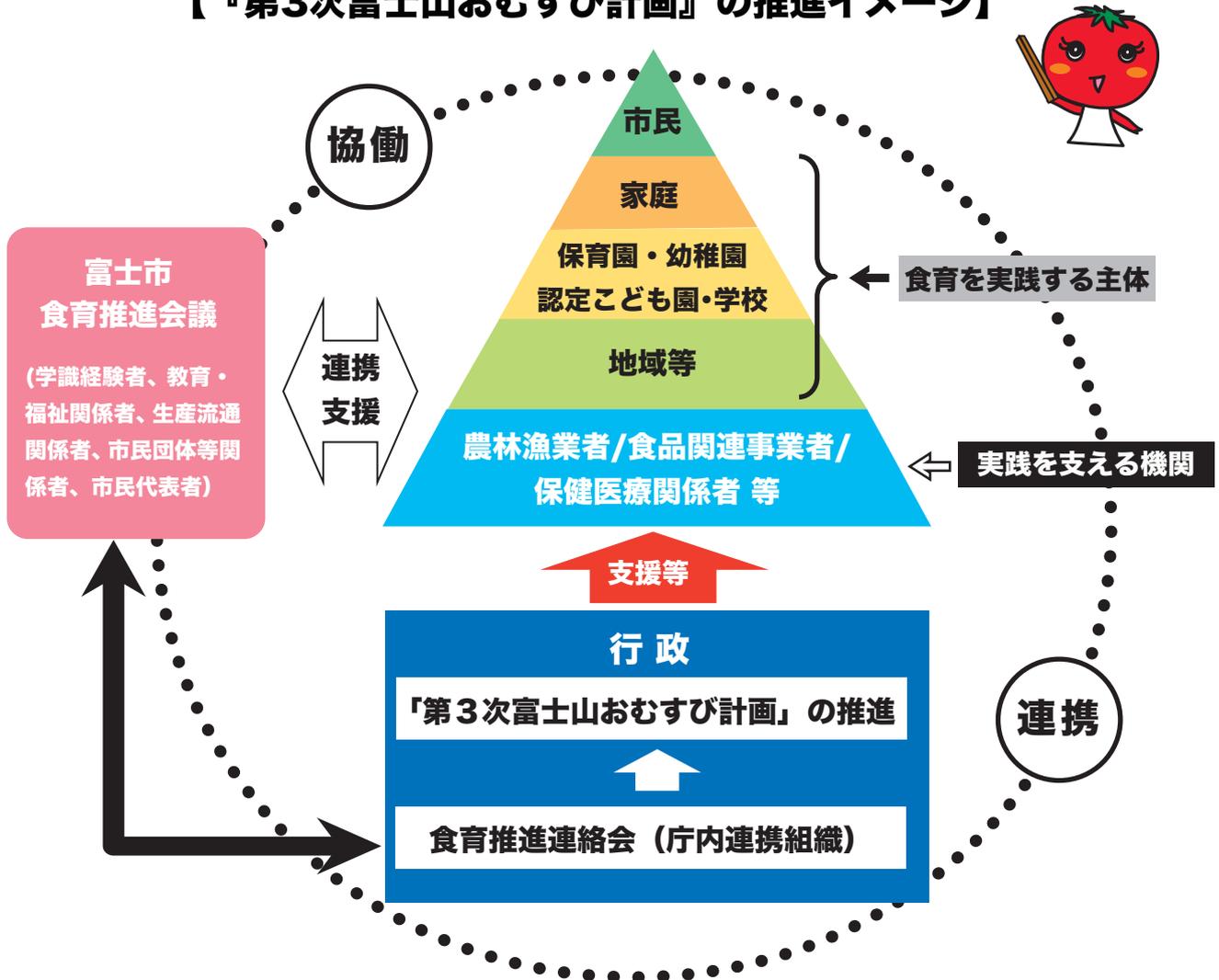
計画の推進

1 関係主体との協働

本計画の推進に当たっては、学識経験者、教育・福祉関係者、生産流通関係者、市民団体、市民代表等で構成する「富士市食育推進会議」と庁内組織である「食育推進連絡会」において、協議・調整を行いながら取り組んでいきます。

また、市民、家庭、保育園・幼稚園・認定こども園・学校、地域、農林漁業者、食品関連事業者、保健医療関係者、行政（市）のそれぞれの主体の役割を明確化し、協働により食育を推進していきます。

【『第3次富士山おむすび計画』の推進イメージ】



2 計画の進行管理と評価

本計画に実効性を持たせ、計画的・効果的に推進するため、毎年、各事業の具体的な内容を示す実施計画を策定し、1年ごとに達成状況を把握します。

また、本計画の成果指標の目標値については、関連する計画における評価指標や市民に対するアンケート調査等で現状の把握を行います。

さらに、富士市食育推進会議及び食育推進連絡会において定期的に検証、評価を行ったうえで、その結果に基づきより適切な食育の推進を図ります。

なお、国や県の計画の見直しに対応し、本計画の期間中であっても、計画内容の見直しが必要となった場合には随時見直しを行います。

【基本理念】

～食を通して、心身の健康と豊かな人間性を育む～

『食で育む健全な心とからだ』

【基本方針と基本施策】

基本方針1. 食を通して心身の健康を育む

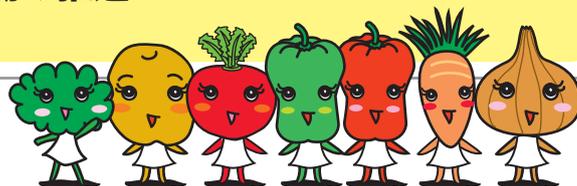
- 基本施策（1）正しい食習慣の定着
- 基本施策（2）栄養バランスの良い食生活の推進
- 基本施策（3）食を通しての生活習慣病の予防・改善
- 基本施策（4）食生活を維持するための歯と口の健康増進

基本方針2. 食を通して豊かな人間性を育む

- 基本施策（1）家族や仲間と楽しく食べる習慣の定着
- 基本施策（2）食事作法の習得の推進
- 基本施策（3）食文化の伝承

基本方針3. 食への理解を深める

- 基本施策（1）環境への配慮
- 基本施策（2）食の安全・安心確保
- 基本施策（3）地産地消の推進
- 基本施策（4）食育体験活動の推進



1

多様な家庭、
ライフステージ
に対応した
食育の推進

市民の食や食育に関する知識を深め、食への理解や感謝の気持ちを育むことができるよう、各種の機会を通じて食育の普及・啓発を図ります。また、乳幼児期から高齢期にかけての各ライフステージ、また多様な家庭のあり方に応じた食育の支援に努めます。

2

保育園・幼稚園・
認定こども園・学校
における食育の推進

園・学校での食育を通じて、子どもたちに正しい食習慣の形成、食に対する感謝の気持ちを育みます。また、園・学校と連携し、給食に関する情報提供や試食会等を通じて、給食への理解と家庭における食育の推進を図ります。

3

地域における
食育の展開と
食文化の継承

保育園給食や学校給食への地場産物や郷土料理・行事食の導入拡大と各種媒体を通じた富士ブランド品等の地場産物の消費の拡大を図ります。また、地域における食生活推進員などの育成とともに、郷土食・行事食などの食文化の継承を図ります。

4

健康と環境、
安全に配慮した
食育の推進

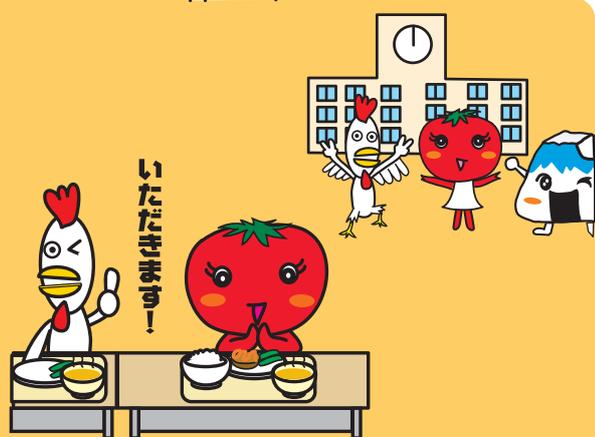
市民の生涯を通じた健康づくりと生活習慣病の予防につながるよう、正しい食生活についての情報提供や、食習慣の改善、歯と口の健康増進に向けた支援を行います。また、食品の安全性に関する情報提供や、生ごみの削減に向けた普及啓発を行います。

【視点ごとの具体的な取組内容】

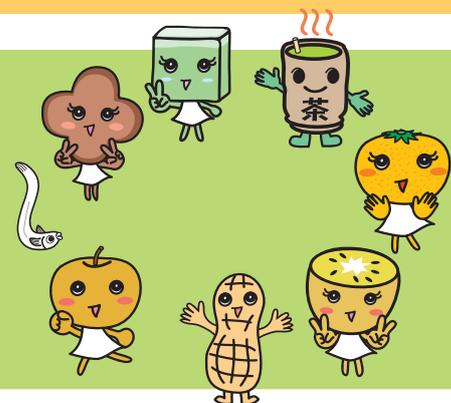
- 1 食育に関する講座・教室・講演会等の開催
- 2 食に関する体験活動の開催
- 3 イベント等における食育の普及・啓発
- 4 妊産婦や乳幼児に関する栄養指導
- 5 高齢者・障害者等を対象とした食に関する支援
- 6 若い世代に対する食育の普及・啓発 ☆
- 7 多様な家庭への食に関する支援 ☆



- 1 子どもの食生活等に関する実態調査
- 2 教育課程の中での食育の推進
- 3 園・学校での食育に関する講座等の開催
- 4 園・学校での食育体験活動の実施
- 5 食育に関わる職員等を対象とした研修の開催
- 6 食育推進校の指定による食育の推進
- 7 給食等を通じた食習慣等の定着
- 8 保護者・地域への食育に関する情報提供



- 1 給食等への地場産物や郷土料理等の導入
- 2 地場産物の消費拡大
- 3 地域等における食育活動への支援
- 4 地域等との協働による食育体験講座・活動の推進
- 5 地域での食育を担う人材の育成



- 1 健康診断等における生活習慣病予防及び改善のための食生活指導等の充実
- 2 イベント等における生活習慣病予防のための食生活の普及活動
- 3 食物アレルギーへの対応と指導・相談の実施
- 4 歯と口の健康増進のための指導・相談等の充実
- 5 食育及び食品の安全性等の情報提供
- 6 学校・家庭での生ごみ対策の推進
- 7 食品ロス対策の推進 ☆



☆ 新規取組

成果指標・目標値

成果指標		対象	基準値 (%)	目標値 (%)	実績値調査資料	
1 食を通して心身の健康を育む	共通	食育に関心を持っている市民の割合	20歳以上	75.3	90	食育に関するアンケート調査
	正しい食習慣の定着	朝食をとっている市民の割合	保育園児	95.8	100	公立保育園朝食摂取状況調査
			幼稚園児	98.4	100	
			小学生	97.5	100	
			中学生	95.0	100	
			高校生	96.3	100	
			20代男性	62.9	80	
			20代女性	72.5	85	アンケート調査
	栄養バランスの良い食生活の推進	日本独自の食生活の実践や栄養バランスに気をつけている市民の割合	20歳以上	59.3	70	アンケート調査
	食を通しての生活習慣病の予防	肥満傾向児の割合	中学生	8.3	7	学校保健「ふじ」
		LDLコレステロールが高い生徒の割合	中学1年生	5.5	5	学校保健「ふじ」
		肥満（BMI25以上）の割合	40歳以上男性	30.2	27.6	富士市国民健康保険特定健康診査
			40歳以上女性	19.9	18.8	
	食生活を維持するための歯と口の健康増進	むし歯罹患率	小学生	44.6	40	学校保健「ふじ」
			中学生	32.8	30	
		定期的に歯科検診を行っている市民の割合	30~60歳代	33.3	35	アンケート調査
	2 食を通して豊かな人間性を育む	家族や仲間と楽しく食べる習慣の定着	食を通じてコミュニケーションを充実させている市民の割合	20歳以上	60.3	65
食事作法の習得の推進		食事に関する作法に気をつけている市民の割合	20歳以上	56.6	65	アンケート調査
食文化の伝承		行事食を取り入れている市民の割合	20歳以上	66.3	75	アンケート調査
3 食への理解を深める	環境への配慮	食べ残しや廃棄を減らすために気をつけている市民の割合	20歳以上	95.6	100	アンケート調査
	食の安全・安心確保	食品の安全性に関する基礎的知識を持っている市民の割合	20歳以上	65.7	80	アンケート調査
	地産地消の推進	地産地消を意識している市民の割合	20歳以上	78.2	85	アンケート調査
		学校給食に県内産物を使用する割合（品数換算）	小中学校	45.3	46	地場農畜産物の使用状況調査
		保育園給食に県内産野菜を使用する割合（重量換算）	保育園	29.4	30	保健医療課調べ
	食育体験活動の推進	過去3年間に農業体験をしたことのある市民の割合	20歳以上	51.5	70	アンケート調査
		みずから調理に取り組んでいる市民の割合	20歳以上	54.1	70	アンケート調査
農林漁業体験学習に取り組んでいる幼稚園・保育園・認定こども園・小中学校の割合		幼稚園・保育園・認定こども園・小中学校	98.1	100	農林漁業体験学習調査	

富士市の食育『ふじ食』



『ふじ食』とは？

富士市の食育プロジェクト、略して…「ふじ食」。「無事食」「富士色」、安全、安心の食の情報、地元の素材や食文化を発信する！それが「ふじ食」です。富士市の食育キャラクター「むすびん」と富士市のご当地グルメつけナポリタンのキャラクター「ナポリン」がタッグを組んで皆さんにわかりやすく、そして身近に『食』を感じてもらう為始動したプロジェクトです。むすびんやナポリン、かわいい食材キャラ達が4コマ漫画で、たのしく、おもしろく、食の大切さを語ってくれます。

むすびん&ナポリンの ふじ食4コマまんが!!



『むすびん』
富士市の食育
キャラクター。
お米が大好き！



『ナポリン』
富士つけナポリタン
公式キャラクター。
トマトの妖精。

<p>富士市はおいしい ものでいっぱいです！」の巻</p>	<p>「みんなでたべると おいしいよ！」の巻</p>	<p>「みんなの食卓は何色？」の巻</p>	<p>「野菜、きれいな？ 野菜もかなしむよ」の巻</p>
<p>地元の食材を食べよう！ 富士市は恵まれた気候風土！ 新鮮な食材は手に入りやすいよ！</p>	<p>ひとりより、誰かと一緒に！ 家族や仲間と楽しみながら 食べる美味しいよね！</p>	<p>色とりどりの食卓を！ ごはんの色が、茶色や白 いっしょくしょくじき 一色の食事は気をつけよう！</p>	<p>野菜は健康維持に大切です！ 野菜は、ビタミンやミネラル、 食物繊維など大切な栄養が 豊富なんだよ！</p>



第3次富士山おむすび計画 ~富士市食育推計画~

富士市 保健部 保健医療課 食育推進室

TEL 0545-55-2884 FAX 0545-53-5586